

**四日市市学力向上アクションプラン
(案)**

四日市市
四日市市教育委員会

1 アクションプラン策定にあたって

平成27年4月、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、首長と教育委員会との連携強化を図るため、首長、教育長及び教育委員で構成する「総合教育会議」が設置されました。

本市の第1回総合教育会議においては、「学力向上」をテーマに協議が行われ、子どもたちの更なる学力向上を目的とする「四日市市学力向上アクションプラン」を策定するために、有識者で構成される「四日市市学力向上のための懇談会」を設置することとしました。

懇談会では、本市の学力や教職員研修の現状を踏まえ、社会人になっても通用する学力や本市の特長を生かした学力向上の方策について、議論が行われました。そして、それらの議論を踏まえ、学力向上のための提言として「四日市市の学力向上について」がまとめられました。

提言書には、学力向上のために、目的：「どのような力を育むか」、手法：「どのような学び方で育むか」、対象：「どのような内容の教育を進めるべきか」の3つが示されており、本市が今後教育施策を進めるに当たって留意すべき点、改善すべき点が提言されています。

これらの提言を受け、子どもたちの更なる学力向上を目指し、ここに「四日市市学力向上アクションプラン」を策定いたします。

本プランによって、本市独自の教育施策を展開し、子どもたちに社会人になっても通用する問題解決能力を育む基礎となる確かな学力の向上を目指します。

2 四日市市学力向上のための懇談会 提言（抜粋）

【提言】四日市市の学力向上について

1 目的 ～どのような力を育むか～

「社会人になっても通用する問題解決能力」

子どもたちが将来社会人となって夢や志を実現するためには、実社会において通用する、生きる力を身につけることが必要である。

四日市市のめざす問題解決能力の養成にあつては、子どもたちに問題解決を経験させること、知識を実生活に活用させることを主眼に置いた取組が行われるよう提言する。

2 手法 ～どのような学び方で育むか～

「子どもたちの主体性を重視した学び」

子どもたちが主体的に学ぶためには、表現力をみがぐための取組や、「何のために学ぶのか、自分はどうなりたいか」という考えをしっかりと持つための、体験活動等のキャリア教育を充実させていくことが必要である。

○手法のための施策 1

読解力、要約力、表現力をみがぐための取組

子どもたちが将来社会人になった時に必要となる「自分で理解しているだけではなく、他人に伝える（理解させる）ことができる」能力を養うことを重視するものである。読解（理解）→要約（思考）→表現（話す）というプロセスを反復継続させる、より学習効果の高い充実した取組として実践されるよう、提言する。

○手法のための施策 2

学ぶことと将来とのつながりを意識したキャリア教育

四日市市には、産業、文化、環境などキャリア教育に生かせる資源がたくさんある。四日市の長を生かした体験活動を通じ、子どもたちが学ぶことの必要性や地域社会と自分とのつながりを感じることができるような取組として実践されるよう、提言する。

また、キャリア教育として、日々の授業をしっかりと行うことについても提言する。

3 対象 ～どのような内容の教育を進めるべきか～

「時代の変化に対応した教育」

時代の流れ、社会の変化に対応して、子どもたちが学ぶべき事柄も変容していく。時代の変化に対応した教育を行うためには、教育におけるICT（情報通信技術）の活用など、教育環境の整備も積極的に進める必要があり、現在、将来を見据えた、効果的な教育への取組を行うべきである。

また、教員の研修カリキュラムの見直しも検討するなど、四日市市全体で教育を支えていく取組として位置付けるよう提言する。

○対象のための施策1

社会のグローバル化を見すえた英語教育

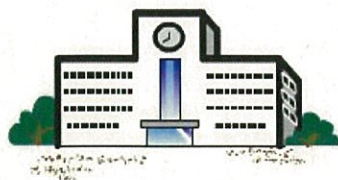
社会のグローバル化を見据え、学力としての英語、コミュニケーションのツールとしての英語という2つの面から、英語教育の更なる充実を図る必要がある。

また、多文化共生都市である四日市の長を生かし、子どもたちが外国の文化に触れ、外国のことを知りたいと思い、外国の人々とコミュニケーションをとるために外国語を話せるようになりたいと思うようなねらいを持った取組が行われるよう、提言する。

○対象のための施策2

四日市の長を生かした教育

われわれが暮らすまち四日市を題材に取りあげ、教育に「四日市らしさ」を打ち出すとともに、実社会に即した具体的な問題解決能力を子どもたちに身に付けさせることが重要である。これらの取組を更に効果的なものとするためには、産・官・学・民の四者が連携して教育に関わっていくことで、教育現場の負担を軽減し、オール四日市での教育を行う仕組みづくりを提言する。

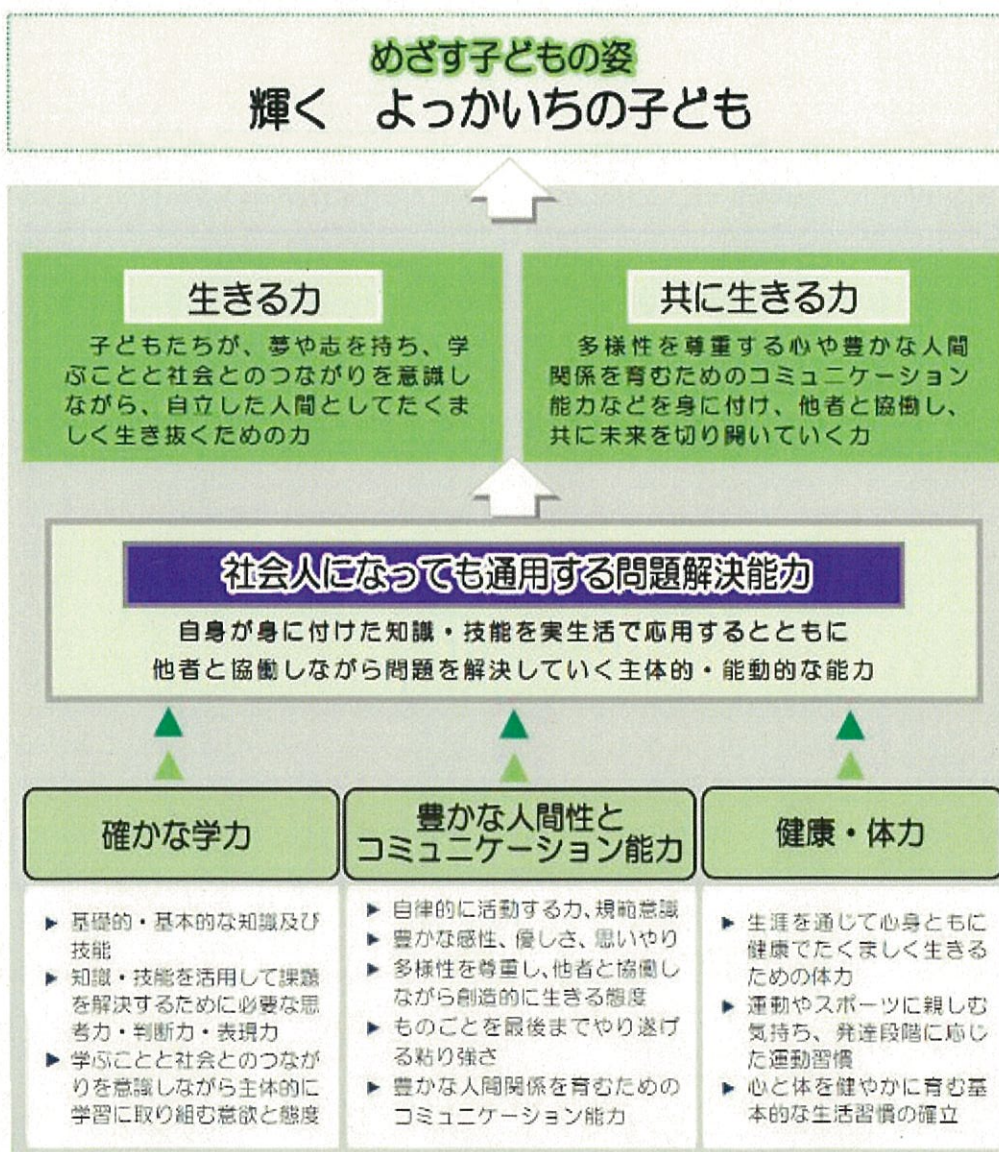


3 四日市市の目指す子どもの姿とつきたい力

子どもたちが自身の夢や志を実現するためには、「学ぶこと」「学び続けること」が不可欠です。そのため、「何のために学ぶのか」という目的意識を持つことや、「学ぶこと」と社会とのつながりを意識しながら、主体的な学習意欲を持つことが必要となります。

また、教育活動全体を通して、子ども一人一人の実態や課題を踏まえ、豊かな人間性と感性を培うこと、さらに仲間づくりを進めるなかで、集団の中での協調性や他者を思いやる心を育むこと、個々の自主性・自立性を育てること、人権尊重の意識を醸成することは大切な視点です。

本市では、主体的・協働的に学ぶ意欲や態度を身に付け、学校での学びを自分自身の人生の充実・幸せや将来の社会貢献につなげていく「輝く よっかいちの子ども」の育成を目指します。



○社会人になっても通用する問題解決能力

本市の目指す「輝く よっかいちの子ども」は、夢や志を持ち、学ぶことと社会とのつながりを意識しながら自立した人間としてたくましく生き抜くための力を備えます。

また、多様性を尊重する心や豊かな人間関係を育むためのコミュニケーション能力などを身に付け、他者と協働し、共に未来を切り開いていく力を備えます。

子どもたちが将来生きていく社会は多様で変化が激しく、課題は一層複雑化し、解決の筋道が明らかでない問題が多く存在します。そのため、自身が身に付けた知識・能力を実生活で応用するとともに、他者と関わりながら問題を解決していく主体的・能動的な能力が求められます。

四日市市では、このような力を「社会人になっても通用する問題解決能力」と位置づけ、その基礎となる学力の向上を目指します。

4 四日市市学力向上アクションプランの概要

四日市市の子どもにつけたい力を育むため、学力向上のための懇談会からの提言を反映させ、学力向上のための二つのアクション「学びの質の向上」「学びの環境の充実」からなる四日市市学力向上アクションプランを策定します。



四日市市の子どもにつけたい力
「社会人になっても通用する問題解決能力」

提
言
書

手法「子どもたちの主体性を重視した学び」
対象「時代の変化に対応した教育」

四日市市学力向上アクションプラン

学力向上のための二つのアクション

学びの質の向上
おもにソフト面のプラン

×

学びの環境の充実
おもにハード面のプラン

5 学力向上のための二つのアクション

学力向上のための二つのアクション

学びの質の向上

思考力・表現力・判断力を育成し
実生活への応用力を身に付ける
四日市の学び方の開発

Action1

思考力・表現力を高める言語活動の充実
論理的思考とコミュニケーションの基盤である言語を使いこなす能力を高めます。的確に相手に伝わる表現を意識させる取組を進めて、読書後の1分間コメントや弁論大会など、表現力を磨く機会を充実させます。

Action2

問題解決能力向上のための授業改革
問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック（四日市モデル）を活用した授業実践事例を作成し、アクティブラーニングを活用した授業改善に取り組みます。

学ぶことと社会とのつながりを意識し
ふるさと四日市の長を生かした
キャリア教育の充実

Action3

四日市の地域資源の教育への活用
ふるさと四日市の産業、環境、港等の地域資源を教育へ活用する仕組みを構築します。キャリア教育の視点を生かした企業等との連携を進めます。

×

学びの環境の充実

一人一人の子ども能力を引き出すための
きめ細かな環境整備

Action4

空調設備整備による良好な学習環境の充実
これまでに例をみない程の猛暑等の発生により良好な学習環境が保てないという課題を克服するため、普通教室の空調設備整備を進め、機能的で快適な学習環境を整えます。

Action5

ICT活用による学びの環境の革新
授業で日常的にICTを活用できる環境整備を進めるとともに、デジタル教科書等の導入など、ソフト面の整備を進めます。

新しい時代に対応し
社会のグローバル化を見据えた
学習環境の整備

Action6

英語教育環境の充実
グローバル化する社会において求められる人材育成に対応するとともに、学力としての英語、コミュニケーションのツールとしての英語という2つの面から英語の能力を強化します。

6 アクションプランの概要

Action 1 思考力・表現力を高める言語活動の充実

○目的

知っていること、できることをどう使うかという視点から、思考力・表現力を高める言語活動を充実させることにより、論理的思考とコミュニケーションの基盤である言語を使いこなす能力を高めます。

○具体的な施策

- ・授業において、新聞記事・コラムやリーフレットなど、図表や写真を含んだ資料を活用し、読解力の育成に取り組みます。
- ・的確に相手に伝わる表現を意識させる取組を進め、読書後の1分間コメントや弁論大会など、表現力を磨く機会を充実させます。
- ・学習を振り返ったり、新たな課題を発見し、解決したりできるような授業ノートの活用を進めます。



Action 2 問題解決能力向上のための授業改革

○目的

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、身に付けた知識・技能を基に情報を収集したり、他者と協働的に課題解決したりすることで、子どもの問題解決能力の向上を図るための授業改革を進めます。

○具体的な施策

- ・学力の実態把握と分析に基づく授業づくりを推進します。
- ・「問題解決能力向上のための5つのプロセス（四日市モデル）」を活用した授業実践事例を作成し、アクティブラーニングを活用した授業改善に取り組みます。
- ・優れた授業実践から学ぶ教職員研修を充実させます。
- ・全国学力・学習状況調査のダイジェスト版リーフレットを各家庭に配布し、家庭学習定着を図ります。



Action3 四日市の地域資源の教育への活用

○目的

本市の強みである「四日市ならではの地域資源」を教育に生かすことによって、四日市に生まれ育ったことに誇りと愛着を持つ「心豊かな“よっかいち人”」の育成に努めます。

○具体的な施策

- ふるさと四日市の産業、環境、港等の地域資源を教育へ活用する仕組みを構築します。
- キャリア教育の視点を生かした企業等との連携を進めます。
- 産業の発展と環境保全を両立するまちづくりを進めてきた本市の公害対策モデル都市として歩みを教育に活用します。



Action4 空調設備整備による良好な学習環境の充実

○目的

これまでに例をみない程の猛暑等の発生により良好な学習環境が保てないという課題を克服するため、普通教室の空調設備整備を進め、機能的で快適な学習環境を整えます。

○具体的な施策

- ・ 特別教室への空調設備の設置に引き続き、普通教室への空調設備整備を進めます。

整備にあたっては、先進市の設置状況調査等を踏まえ、整備費用負担の平準化や設置順における平等性、効率的な維持管理の観点から課題を整理し、検討していきます。



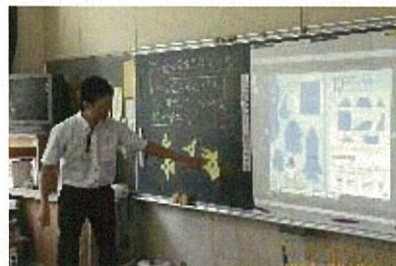
Action5 ICT活用による学びの環境の革新

○目的

子どもたちが主体的に自らの疑問について調べたり、考えを表現したり発表したりするなど、主体的・協働的な学びを実現するために、ICTを活用した学びのできる環境整備を進めます。

○具体的な施策

- ・ 授業で日常的にICTを活用する環境を革新するため、壁掛型電子黒板、タブレット端末の設置を段階的に進めます。
- ・ デジタル教科書等の導入など、ICTを活用した学びの質を深めるソフト面の整備を進めます。



Action 6 英語教育環境の充実

○目的

グローバル化する社会において求められる人材育成に対応するとともに、学力としての英語、コミュニケーションのツールとしての英語という2つの面から英語の能力を強化します。

○具体的な施策

- ・英語指導員の配置など、教室で英語を使いこなすための環境整備を進め、中学校卒業時に日常生活に必要な基本的な英会話能力を身に付けることを目指します。
- ・英語担当教員の英語力向上を目指します。

